

植生保護柵のネット上げ

遠野支署

遠野支署では、5月26日（火）に、早池峰山の河原の坊登山道に設置しているシカによる食害から高山植物を保護するための柵のネットを張る作業を行いました。これは冬の間、たんでいたネットを再び張る作業です。雪で折れたり流されたりした支柱を交換し、回収する作業も行いました。

今年は、昨年より1か月早く、雪融けと同時にネットを張ることができたので、シカの食害に対する高い防止効果が期待されます。



支署職員によるネット張り

国民の森林（もり）づくり 推進功労者へ 局長感謝状の贈呈

三八上北森林管理署

局長感謝状は、毎年度国有林をフィールドとした国民参加の森林づくりの推進や技術の開発・普及・監視・保全活動や環境教育等に自主的に取り組み、その功績が顕著であった個人や団体等に対し、東北森林管理局長から感謝状を贈呈しているものです。

令和2年度は田中建設工業株式会社が局長表彰を受賞され、6月30日（火）同社社屋において社員に見守

られる中、仙北谷彰三八上北森林管理署長から同社田中進代表取締役社長へ感謝状を贈呈し、これまでの森林づくり活動等への貢献をたたえました。

同社は、国内有数の観光地である十和田湖の国道102号（奥入瀬ハイパス）建設工事施工に携わり、平成9年開通後は道路の維持管理を担っていることから、翌年の平成10年から平成18年まで同社社員、平成16年からは同社社員と親睦を図ることを目的として設立した「創栄会」の会員も参加して、道路清掃奉仕活動及び国道沿線の国有林にブナ林景観向上のため、ブナの苗木植樹活動をしています。

平成18年12月には、同社は当署と「ふれあいの森における森林づくりに関する協定」を締結し、引き続き平成19年から令和元年まで毎年継続してブナの苗木100本を植樹すると共に、森林教室の開催及び、国道102号沿線約8kmの道路清掃奉仕活動をしてきました。

また、社有林（0.30ha）においても、ブナの幼木（350本）を植樹・育樹しブナの森を設定するなど意欲的に活動し、森林整備の必要性にも多大な理解を示されています。

ふれあいの森協定は目的達成により令和元年度で終了し、令和2年度からは新たに「社会貢献の森」協定を締結し、三沢海岸での防風林造成を通じて引き続き精力的に植樹活動を継続することとしておりました。・・・が、初年度である今年には新型コロナウイルスの影響を鑑み、無念の中止となりました。

森林づくりの大切さを従業員や家族等に伝え広め、植樹・育樹活動を地域の先頭に立ち実施していくことによる、地域・社会への森林づくりへの活動普及効果はとても大きく、森林・林業の発展に多大なる貢献をされています。



国道102号沿線の道路清掃奉仕活動



ブナの苗木植樹の様子



感謝状贈呈の様子